

2. 駅周辺の景観形成基準（行為の制限・配慮事項） 素案				凡例 ●:有空間に関する事項 ○:公共空間に関する事項 ◎:民有及び公共空間両方に関する事項 □:建築物・工作物・敷地外構や緑化に関すること	参考資料(資料2、3関係)						
一般地域(市街地)	駅前周辺 ※駅前周辺地域のうち全エリア共通事項	駅前周辺地域のうち限られたエリアのみ(提案) ※左記全体のルールに加えて守る基準	駅周辺ガイドライン		西3丁目通りエリア	駅前通りエリア	国道5号エリア	駅周辺北側	駅周辺南側	飲食商業エリア	道道俱知安ニセコ線エリア
位置・配置	<p>【景観資源への眺望確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点場や周辺の道路等から景観資源を眺望した際、その視野・視角を大きく遮る位置に建築物等を築造しない。 <p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街並みの連なりを大切にし、道路からの後退距離や建築物の向きを周辺建築物と揃える等、可能な限り連続性を保つよう努める。 <p>【雪対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落雪が道路や隣地に影響を与えないよう、「俱知安町建築物等に関する指導要綱」に基づく離れを十分に確保する。 	<p>【景観資源への眺望確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点場や周辺の道路等から景観資源（羊蹄山・ニセコ連峰）を眺望した際、その視野・視角を大きく遮る位置に建築物等を築造しない。 <p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街並みの連なりを大切にし、道路からの後退距離や建築物の向きを周辺建築物と揃える等、可能な限り連続性を保つよう努める。 <p>【雪対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落雪が道路や隣地に影響を与えないよう、「俱知安町建築物等に関する指導要綱」に基づく離れを十分に確保する。 <p>【追加ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な通りに面した建物は、可能な限り、間口を通りに面して配置するなど、通りの賑わいを分断しないように配慮する。 ・風力発電施設は設置してはならない。 		<ul style="list-style-type: none"> ●周囲の街なみと調和を図るための、中高層施設の配置誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・道路や隣地から建物セットバックさせるなど、ゆとりのある配置を心がけることで、圧迫感を抑え、周囲の既存の建物との調和を図ることができます。 ●連続した賑わいづくりにつながる、通りに面した間口の配置 <ul style="list-style-type: none"> ・主要な通り(西3丁目通、駅前通り、国道5号、道道俱知安ニセコ線)に面する建物は、可能な限りその間口を通りに面して配置するなど、通りの賑わいを分断しないように配慮しましょう。 ・交差点付近の角地では、主要な通りを優先し、通りの賑わいが分断しないような間口の配置となるよう心がけましょう。 ◎国際リゾートの玄関としての印象をつくる、無電柱化の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・店への入り口や除雪の妨げにならないよう、地上機器の位置への配慮や、無電柱化の検討が必要です。 ・特に西3丁目通りでは、駅前広場との一体感を出し、国際リゾートの玄関としての全体の印象づくりのため無電柱化が求められます。 ・道道俱知安ニセコ線は、高速ICとのアクセス道路として、落ち着いたある沿道景観の形成として、無電柱化が求められます。 ・駅前通りでは、見通しの良い連続した街なみの景観形成のため、無電柱化を推進します。 ●周囲との調和を図る、自動販売機の設置位置への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 設置箇所は周囲の景観との調和を図れるよう工夫しましょう。 ●オープンスペースによる、ゆとりあるまちなみの演出 <ul style="list-style-type: none"> ・建物の前か横にオープンスペースを設け、緑化やベンチなどの滞在空間をつくることで、ゆとりあるまちなみを演出することができます。 ●落ち着いたある街なみにつながる、圧迫感を感じさせない建物配置 <ul style="list-style-type: none"> ・建物更新の際は建物前面の道路からの後退距離を確保することで、圧迫感の少ない沿道の景観形成へとつながります。 ●洗練された印象をつくる、屋外広告物の集約化 <ul style="list-style-type: none"> ・広告物は必要最小限の数と大きさにし、低層部にできるだけ集約させることで、雑多な印象を与えることを防ぎます。また、中高層部の壁面へ広告物を掲示する場合は、建物名といった最小限の情報のみにするなどの工夫が必要です。 	●	●	●	●	●	●	●
	規模・高さ	<p>【景観資源への眺望確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点場や周辺から景観資源を眺望した際、その視野・視角を大きく遮る規模の建築物等を築造しない。 <p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街並みの連なりを大切にし、建築物等の規模は周辺建築物との調和を保つ。特に周辺の道路等から見た際、まち並みが形成するスカイラインから突出しない。 	<p>【景観資源への眺望確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点場や周辺から景観資源（羊蹄山・ニセコ連峰）を眺望した際、その視野・視角を大きく遮る規模の建築物等を築造しない。 <p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街並みの連なりを大切にし、建築物等の規模は周辺建築物との調和を保つ。特に周辺の道路等から見た際、まち並みが形成するスカイラインから突出しない。 	○駅前通りエリア	<ul style="list-style-type: none"> ●羊蹄山への眺望に配慮した規模 <ul style="list-style-type: none"> ・駅施設からの羊蹄山への眺望に配慮し、山なみのスカイラインへの影響を抑えた建築物や工作物の高さや設置位置とすることで、より山なみへの眺望が意識できるようになります。 ●落ちつきのある沿道形成につながるボリュームを抑えた掲出 <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)俱知安ICと国道5号を連絡する道道俱知安ニセコ線は、交通需要の増加による建物更新が見込めることから、沿道の秩序あるまちなみ形成へとつなげるため、高さや掲出面積を抑える必要があります。 	●	●				

2. 駅周辺の景観形成基準（行為の制限・配慮事項） 素案				凡例		参考資料(資料2、3関係)							
建築物及び 工 作 物 の 建 設 等	一般地域(市街地)	駅前周辺 ※駅前周辺地域のうち全エリア共通事項	駅前周辺地域のうち 限られたエリアのみ(提案) ※左記全体のルールに加えて守る基準	駅周辺ガイドライン	●:有空間に関する事項 ○:公共空間に関する事項 ◎:民有及び公共空間両方に関する事項 □:建築物・工作物・敷地外構や緑化に関する こと		西3丁 目通 りエ リア	駅前 通り エ リア	国道 5号 エ リア	駅周 辺北 側	駅周 辺南 側	飲食 商業 エ リア	道 道 俱 知 安 ニ セ コ 線 エ リア
					<p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一定のルールや統一感のある街並みが形成されている地域は、その地域の特徴を十分に把握したうえで、調和を図る形態意匠とする。 一回の敷地内に複数の建築物等を設置する際は、形態や意匠、色彩に統一感をもたせ、全体としてまとまりのある姿とする。 近隣建築物等より規模の大きな中高層建築物等を建造する際は道路に面した側を低層にするなど、道路から見える街並みの連続性を保つ。 建築物の屋根・外壁は使用色数を抑え、近隣建築物等の色彩と調和する色彩を用いる。原色や高彩度色(けはけばしい色)はアクセントに留める。 <p>【追加ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上広告物の掲出は行わない。 	<p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周囲の街並みを十分に把握したうえで、調和を図る形態意匠とする。 一回の敷地内に複数の建築物等を設置する際は、形態や意匠、色彩に統一感をもたせ、全体としてまとまりのある姿とする。 近隣建築物等より規模の大きな中高層建築物等を建造する際は道路に面した側を低層にするなど、道路から見える街並みの連続性を保つ。 建築物の屋根・外壁は使用色数を抑え、近隣建築物等の色彩と調和する色彩を用いる。原色や高彩度色(けはけばしい色)はアクセントに留める。 <p>【追加ルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上広告物の掲出は行わない。 	<p>○駅前通り 【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> 店舗・事務所等に使用するプレハブ型の簡易な建築物を設置する場合は、簡素な外観にせず、周囲の賑わいを支える意匠とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●羊蹄山への眺望を意識した建築物のデザイン <ul style="list-style-type: none"> ●羊蹄山への眺望やまちなみの雰囲気意識し、周辺の建築物に馴染むようなデザインの建築物にすることで、視点場から山なみやまちなみの連続性を感じることができます。 ●建物付帯設備は屋上に設置しないなど、眺望に影響のない設置や建築物と一体となったデザインを心がけることで、羊蹄山への眺望に配慮したまちなみを保つことができます。 ●まちなみの連続性を演出する低層部の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ●隣接する建物の壁面線や軒の高さ、工作物や植栽などの高さを揃えることで、まちなみの連続性を意識した意匠にしましょう。 ●圧迫感を感じさせない建物の設え <ul style="list-style-type: none"> ●大きな壁面がある建物は、一面単調で圧迫感を感じさせないように、低層部と中高層部のデザインを切り替え、通りに面して入口やお店等を設けることで、威圧感を感じさせない、歩行者に寄り合うまちなみになります。 ●調和のあるまちなみづくりのための、建物や工作物の統一感の確保 <ul style="list-style-type: none"> ●建物や工作物の高さや形状、色彩、窓面の構成など、取り付け方に配慮することで、統一感のあるまちなみを創出できます。 ●快適な日常にしていけるための、町民の暮らしに対応した用途の誘導 <ul style="list-style-type: none"> ●建物の低層部は町民の日常生活に対応した用途(店舗・飲食店など)を誘導し、日常的に良好な歩行空間を創出する形態や意匠に配慮することが大切です。 ●夜間の街並みにぬくもりと安心感を与える、間接照明等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ●間接照明や屋内から漏れる灯りなどの温かみのある光により、柔らかな印象をもち、夜間のまちなみにぬくもりと安心感を与えることができます。 ●夜間は、暖かい光の店舗照明や室内の灯りが外へ伝わるパイプシャッターなどをを用いた演出が効果的です。 ●賑わいのにじみ出しを誘う、通りに開かれた建物低層部の設え <ul style="list-style-type: none"> ●間口は駅前通りに面して配置し、建物低層部をガラス壁面や大きな間口にすることで、建物室内への見通しがよくなり、建物内部の賑わいが通りへにじみ出すことが期待できます。 ●飲食店などについては、屋内と屋外の緩やかなつながりをつくるため、オープンテラスを設置することで、駅前通りや歩道へ賑わいのにじみ出しが期待できます。 ●通りに面して壁面後退距離が少ない既存建物については、間口部分をセットバックし、プランターやベンチの設置などにより、ゆとりのある印象となります。 ●落ちつきのある色彩によるまちなみ形成 <ul style="list-style-type: none"> ●(仮称)俱知安ICと国道5号を連絡する道道俱知安ニセコ線は、交通需要の増加による建物更新が見込まれることから落ち着きの感じられる、建物や工作物の色彩に配慮することで、沿道の秩序あるまちなみ形成へとつながります。 ●華やかな賑わいを感じる意匠や屋外広告物、照明 <ul style="list-style-type: none"> ●俱知安町の繁華街として、昼も夜も賑わいを感じるまちなみとするため、商業施設の低層部は、周囲のまちなみとの調和を図りながらも、アクセントカラーを効果的に用いるなど、店舗の個性が光るよう開放的な意匠にしましょう。 ●夜の照明は、繁華街の賑わいを感じられるよう、周囲との連続性に配慮しましょう。 ●圧迫感を感じさせない建物の設え <ul style="list-style-type: none"> ●高層階(4階以上)は、色彩の明度を高めるなど、周囲や空やまちなみに馴染む色彩やデザインとします。 ●周囲と調和を図るための、自動販売機の色合いへの配慮 <ul style="list-style-type: none"> ●外観の色合いは周囲との調和を図るよう工夫しましょう。 ●山なみとの調和を生む、羊蹄山への眺望に配慮した色彩 <ul style="list-style-type: none"> ●羊蹄山の眺望に配慮し、調和のとれた色彩とします。 ●周辺と一体的な空間を作るための、建物や工作物の統一性 <ul style="list-style-type: none"> ●フンポイントで使用するアクセントカラーは、周囲とのコントラストで目立つため落ち着いた色彩でも効果があり、効果的に用いることで、周辺と一体的な空間をつくることができます。 	●	●			

2. 駅周辺の景観形成基準（行為の制限・配慮事項） 素案				参考資料(資料2、3関係)							
一般地域(市街地)	駅前周辺 ※駅前周辺地域のうち全エリア共通事項	駅前周辺地域のうち 限られたエリアのみ(提案) ※左記全体のルールに加えて守る基準	駅周辺ガイドライン	凡例							
				西3丁目 通りエリ ア	駅前 通りエ リア	国道 5号エ リア	駅周 辺北 側	駅周 辺南 側	飲食 商業 エリ ア	道道 俱知 安ニ セコ 線エ リア	
				凡例 ●:有空間に関する事項 ○:公共空間に関する事項 ◎:民有及び公共空間両方に関する事項 □:建築物・工作物・敷地外構や緑化に関する事項							
			<ul style="list-style-type: none"> ●視点場からの眺望と安全性の確保を意識した屋外広告物の掲出 ●広告物は直接的な表現やけばけばしい色彩を避け、切り文字や箱文字などを使用し、アクセントカラーを効果的に用いるなど、デザインを洗練させ、できる限り恒久的でシンプルかつわかりやすさを意識することが大切です。 ●歩行者の通行や道路標識の視認性、道路の見通しを確保できる場所に広告物の設置をすることで、安全性を ◎賑わいの演出と人々の誘導につながる、通り名や案内サインの設置 ●各通りと駅前通りの結節点を中心に、親しみのあるデザインや落ち着いた色彩の案内サイン等を設置することで、駅前通りの雰囲気と相応しい賑わいを演出し、人々の誘導につながります。 ●統一感がありながら個性を感じるデザイン ●屋外広告物等は、歩行者の視線に立ち、形状や大きさ、素材、設置位置、色彩などに統一感を持たせながらも、アクセントカラーを効果的に用いるなど、店舗のイメージに合ったデザインにすることで、店とまちなみのイメージアップを図ることができます。けばけばしい色彩や巨大な屋外広告は避けましょう。 ◎おもてなしと潤いを感じさせる、植樹樹や沿道などの緑化 ●物の前面などに緑化や植栽をすることで、おもてなしや潤いを感じる沿道景観を創出することができます。 ●緑化の際は宿根草や落葉が少ない樹木など、維持管理に負担が大きくかからない種類に配慮することが大切です。 ●駅前通りへ視線を誘導する、緑化や歩行空間の設えへの配慮 ●建物と道路の間にオープンスペースには樹木等を配置することで、駅前広場と一体となった空間づくりにつながります。 ●特に駅前通りでは、オープンスペースでの滞在空間の充実や花壇・プランターの設置をすることで通りの雰囲気も明るくなり、賑わいや潤いの創出にもつながります。 ●賑わいや潤いの創出にもつながります。 ●国道5号から駅前通りへの繋がりを意識した植栽の配置により、駅前通りへの誘導やおもてなしの印象を与えられます。 ●駅前広場との一体感とおもてなしを感じる、沿道の緑化 ●敷地内の植樹や、花壇の設置、ベランダガーデン、オープンスペースの緑化などで、駅前におけるおもてなしを感じる質の高い空間になります。 ●歩道には花壇による“花の帯”をつくることで、賑わいを感じる華やかな印象になり、緑による駅前広場との一体感を図ることができます。 	●	●	●	●	●	●	●	
		○駅前通り・西3丁目通り	<ul style="list-style-type: none"> ◎おもてなしと潤いを感じさせる、植樹樹や沿道などの緑化 ●物の前面などに緑化や植栽をすることで、おもてなしや潤いを感じる沿道景観を創出することができます。 ●緑化の際は宿根草や落葉が少ない樹木など、維持管理に負担が大きくかからない種類に配慮することが大切です。 ●駅前通りへ視線を誘導する、緑化や歩行空間の設えへの配慮 ●建物と道路の間にオープンスペースには樹木等を配置することで、駅前広場と一体となった空間づくりにつながります。 ●特に駅前通りでは、オープンスペースでの滞在空間の充実や花壇・プランターの設置をすることで通りの雰囲気も明るくなり、賑わいや潤いの創出にもつながります。 ●賑わいや潤いの創出にもつながります。 ●国道5号から駅前通りへの繋がりを意識した植栽の配置により、駅前通りへの誘導やおもてなしの印象を与えられます。 ●駅前広場との一体感とおもてなしを感じる、沿道の緑化 ●敷地内の植樹や、花壇の設置、ベランダガーデン、オープンスペースの緑化などで、駅前におけるおもてなしを感じる質の高い空間になります。 ●歩道には花壇による“花の帯”をつくることで、賑わいを感じる華やかな印象になり、緑による駅前広場との一体感を図ることができます。 	●	●	●	●	●	●	●	
		【塀・柵・垣】 ●高さを抑え、自然素材や生垣を利用するなど、可能な限り周囲への圧迫感を軽減する。	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺環境との調和を図るための、空地の適切な維持管理 ●建物の解体・除去後の敷地は、周辺環境との調和を図り、芝生、植栽、花壇等の緑化や定期的な除草などを行い、適切な維持・管理に努めます。 ●安全性と景観へ配慮した駐車場の配置 ●歩行者優先の観点から、駐車場は可能な限り駅前通り側に設けないことが必要です。やむを得ない場合は、歩行者の安全確保に配慮した出入り口や、周辺と統一感のある色彩・デザイン、緑化などを行うことで景観し、威圧感の軽減と周辺環境との調和を図ることが大切です。 	●							
		【雪対策】 ●建築物等は落雪が道路や隣地に影響を与えないよう、敷地に十分な堆雪スペースを確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺環境との調和を図るための、空地の適切な維持管理 ●建物の解体・除去後の敷地は、周辺環境との調和を図り、芝生、植栽、花壇等の緑化や定期的な除草などを行い、適切な維持・管理に努めます。 ●安全性と景観へ配慮した駐車場の配置 ●歩行者優先の観点から、駐車場は可能な限り駅前通り側に設けないことが必要です。やむを得ない場合は、歩行者の安全確保に配慮した出入り口や、周辺と統一感のある色彩・デザイン、緑化などを行うことで景観し、威圧感の軽減と周辺環境との調和を図ることが大切です。 	●	●	●	●	●	●	●	
		【緑化】 ●周囲の敷地の状況を踏まえ、前面道路に対し、植栽・花壇による落ち着きと潤いの創出を図る。 ●樹容や樹齡に優れる樹木がある場合は、伐採を避ける又は移植するなど、可能な限り保存に努める	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺環境との調和を図るための、空地の適切な維持管理 ●建物の解体・除去後の敷地は、周辺環境との調和を図り、芝生、植栽、花壇等の緑化や定期的な除草などを行い、適切な維持・管理に努めます。 ●安全性と景観へ配慮した駐車場の配置 ●歩行者優先の観点から、駐車場は可能な限り駅前通り側に設けないことが必要です。やむを得ない場合は、歩行者の安全確保に配慮した出入り口や、周辺と統一感のある色彩・デザイン、緑化などを行うことで景観し、威圧感の軽減と周辺環境との調和を図ることが大切です。 	●	●	●	●	●	●	●	
敷地外構・緑化修景		【塀・柵・垣】 ●高さを抑え、自然素材や生垣を利用するなど、可能な限り周囲への圧迫感を軽減する。	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺環境との調和を図るための、空地の適切な維持管理 ●建物の解体・除去後の敷地は、周辺環境との調和を図り、芝生、植栽、花壇等の緑化や定期的な除草などを行い、適切な維持・管理に努めます。 ●安全性と景観へ配慮した駐車場の配置 ●歩行者優先の観点から、駐車場は可能な限り駅前通り側に設けないことが必要です。やむを得ない場合は、歩行者の安全確保に配慮した出入り口や、周辺と統一感のある色彩・デザイン、緑化などを行うことで景観し、威圧感の軽減と周辺環境との調和を図ることが大切です。 	●							
		【雪対策】 ●建築物等は落雪が道路や隣地に影響を与えないよう、敷地に十分な堆雪スペースを確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺環境との調和を図るための、空地の適切な維持管理 ●建物の解体・除去後の敷地は、周辺環境との調和を図り、芝生、植栽、花壇等の緑化や定期的な除草などを行い、適切な維持・管理に努めます。 ●安全性と景観へ配慮した駐車場の配置 ●歩行者優先の観点から、駐車場は可能な限り駅前通り側に設けないことが必要です。やむを得ない場合は、歩行者の安全確保に配慮した出入り口や、周辺と統一感のある色彩・デザイン、緑化などを行うことで景観し、威圧感の軽減と周辺環境との調和を図ることが大切です。 	●	●	●	●	●	●	●	
		【緑化】 ●周囲の敷地の状況を踏まえ、前面道路に対し、植栽・花壇による落ち着きと潤いの創出を図る。 ●樹容や樹齡に優れる樹木がある場合は、伐採を避ける又は移植するなど、可能な限り保存に努める	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺環境との調和を図るための、空地の適切な維持管理 ●建物の解体・除去後の敷地は、周辺環境との調和を図り、芝生、植栽、花壇等の緑化や定期的な除草などを行い、適切な維持・管理に努めます。 ●安全性と景観へ配慮した駐車場の配置 ●歩行者優先の観点から、駐車場は可能な限り駅前通り側に設けないことが必要です。やむを得ない場合は、歩行者の安全確保に配慮した出入り口や、周辺と統一感のある色彩・デザイン、緑化などを行うことで景観し、威圧感の軽減と周辺環境との調和を図ることが大切です。 	●	●	●	●	●	●	●	

2. 駅周辺の景観形成基準（行為の制限・配慮事項） 素案					参考資料(資料2.3関係)							
	一般地域(市街地)	駅前周辺 ※駅前周辺地域のうち全エリア共通事項	駅前周辺地域のうち 限られたエリアのみ(提案) ※左記全体のルールに加えて守る基準	駅周辺ガイドライン	凡例							
					西3丁目通りエリア	駅前通りエリア	国道5号エリア	駅周辺北側	駅周辺南側	飲食商業エリア	道道倶知安ニセコ線エリア	
開発行為	位置・配置	<p>【景観資源への眺望確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点場や周辺の道路等から景観資源を眺望した際、その視野・視角を大きく遮る位置で土地の造成を行わない。 <p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まち並みや農業景観、森林景観といった地域の景観特徴を十分に把握し、その連続性を大きく遮る位置の造成や擁壁の設置を行わない。特に周辺の道路その他公共の場から見える方向での法面、擁壁は極力避け、避けられない場合は植樹や緑化による修景を行う。 			●:有空間に関する事項 ○:公共空間に関する事項 ◎:民有及び公共空間両方に関する事項 □:建築物・工作物・敷地外構や緑化に関すること							
	規模	<p>【景観資源への眺望確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点場や周辺から景観資源を眺望した際、眺望を大きく遮る規模の造成や擁壁の設置を行わない。特に山並みの稜線より突出しない。 <p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成の規模は必要最低限とし、既存地形や周辺の土地の高さと大きく異なる規模の造成は行わない。 	<p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成の規模は必要最低限とし、既存地形や周辺の土地の高さと大きく異なる規模の造成は行わない。 									
	形状	<p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲に圧迫感を与える長大な一体型の法面・擁壁は避ける。緩やかな緑化法面とする、擁壁を分割し表面を緑化する等、圧迫感を抑える。 	<p>【周辺景観との調和】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲に圧迫感を与える長大な一体型の法面・擁壁は避ける。緩やかな緑化法面とする、擁壁を分割し表面を緑化する等、圧迫感を抑える。 									
	その他	<p>【緑化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の既存の樹木や植栽は、可能な限り保存し、修景に活かす。やむを得ず伐採する場合は、新たな植栽や補植により、緑を確保する。 ・樹容や樹齡に優れる樹木がある場合は、伐採を避ける又は移植するなど、可能な限り保存に努める。 <p>【水辺の保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の良好な生息空間を形成する水辺の樹木や天然の河床は可能な限り保全し、治水上必要な伐採等以外は人の手を加えない。護岸や地下化が必要な場合は、自生種や自然環境を配慮した工法を用いる。 <p>【雪対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成地内道路の幅や線形計画は、種雪期の通行や道路除雪を踏まえたものとする。 ・造成地内の分譲区画を計画する場合は、建築物が建った後の落雪距離や堆雪スペース確保を踏まえ、余裕ある面積を確保する。 	<p>【緑化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹容や樹齡に優れる樹木がある場合は、伐採を避ける又は移植するなど、可能な限り保存に努める。 <p>【水辺の保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物の良好な生息空間を形成する水辺の樹木や天然の河床は可能な限り保全し、治水上必要な伐採等以外は人の手を加えない。護岸や地下化が必要な場合は、自生種や自然環境を配慮した工法を用いる。 <p>【雪対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・造成地内道路の幅や線形計画は、種雪期の通行や道路除雪を踏まえたものとする。 ・造成地内の分譲区画を計画する場合は、建築物が建った後の落雪距離や堆雪スペース確保を踏まえ、余裕ある面積を確保する。 									

2. 駅周辺の景観形成基準（行為の制限・配慮事項） 素案				凡例 ●:有空間に関する事項 ○:公共空間に関する事項 ◎:民有及び公共空間両方に関する事項 □:建築物・工作物・敷地外構や緑化に関すること	参考資料(資料2、3関係)						
一般地域(市街地)	駅前周辺 ※駅前周辺地域のうち全エリア共通事項	駅前周辺地域のうち 限られたエリアのみ(提案) ※左記全体のルールに加えて守る基準	駅周辺ガイドライン		西3丁目通りエリア	駅前通りエリア	国道5号エリア	駅周辺北側	駅周辺南側	飲食商業エリア	道徳倶知安ニセコ線エリア
その他	<p>【緑地の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地は公共性をもつ地域の共用地であり、夏は緑による潤いの場、冬は共用の堆雪場としての役割も果たす為、造成地の5%以上を確保する。また、造成地内道路計画と併せ、各区画からのアクセス性を考慮した配置とする。 <p>【無電柱化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地は公共性をもつ地域の共用地であり、夏は緑による潤いの場、冬は共用の堆雪場としての役割も果たす為、造成地の5%以上を確保する。また、造成地内道路計画と併せ、各区画からのアクセス性を考慮した配置とする。 	<p>【緑地の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地は公共性をもつ地域の共用地であり、夏は緑による潤いの場、冬は共用の堆雪場としての役割も果たす為、造成地の5%以上を確保する。また、造成地内道路計画と併せ、各区画からのアクセス性を考慮した配置とする。 <p>【無電柱化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地は公共性をもつ地域の共用地であり、夏は緑による潤いの場、冬は共用の堆雪場としての役割も果たす為、造成地の5%以上を確保する。また、造成地内道路計画と併せ、各区画からのアクセス性を考慮した配置とする。 									
樹木の伐採	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 造成・建築に必要な最小限の伐採に留める。 <p>【森林地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路やその他公共空間から容易に見える場所での伐採、視点場等から眺望した際に目立つ広範囲の連続した伐採は避ける。 道路等からの視線を遮るよう樹木を残す、周辺森林からの緑の連続性を絶たないようにする等配慮をする。 	<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 造成・建築に必要な最小限の伐採に留める。 									
土石等の堆積	<ul style="list-style-type: none"> 視点場や周辺の道路等から、景観資源への眺望を阻害する位置・規模の堆積を行わない。特に山並みの稜線より突出しない。 道路やその他公共空間から容易に見える位置での土石、資材、その他物品の堆積は避け、植栽等により修景を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 視点場や周辺の道路等から、景観資源への眺望を阻害する位置・規模の堆積を行わない。特に山並みの稜線より突出しない。 道路やその他公共空間から容易に見える位置での土石、資材、その他物品の堆積は避け、植栽等により修景を行うこと。 									
				◎空き地を活用した賑わいづくり							
				・コンテナハウスやフードトラック等を設置する際は、周囲の景観に調和した色彩や意匠・形態に配慮することが大切です。	●						
				・空き地については、コンテナハウスの設置による交流スペースづくりや、イベントとしてフードトラックを設置すること。							
				◎楽しく歩いてまちを巡るための、四季を通して安全・安心な歩行空間							
				・楽しく歩いて巡れるよう、歩行者の妨げにならない屋外広告物の配置を心掛け、歩道除雪を工夫し、一年を通して安全・安心な歩道の確保を図ることが大切です。	●						
				●人々が心地良く滞留できる空間づくりにつながる、ベンチ、オープンカフェ等の設置							
				・建物のセットバックでできたスペースに、休憩ができるベンチやテーブル、日よけになるバラソルや庇を設けることで、人を呼込む店構えとなり駅前通りを行き交う人々が心地良く滞留できる空間を提供できます。	●						
				◎駅前通りベスムーズに導くための、統一性のある誘導サインなどによる誘導							
				・駅前通りから統一性と連続性を感じられる誘導サインの意匠や配置にすることで、国道5号から駅前通りへのスムーズな誘導に繋がります。			●				